

事業目標

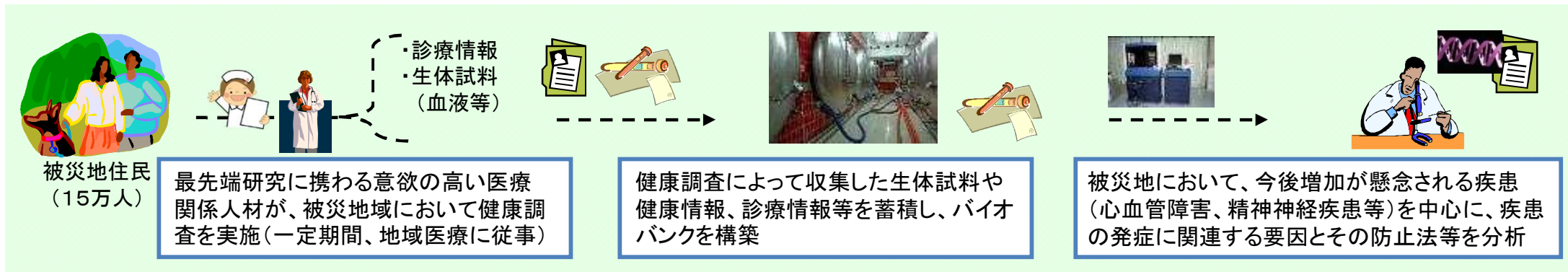
被災地住民の健康不安解消への貢献、東北発の次世代医療の基盤を整備

被災地を中心とした大規模ゲノムコホート研究を行うことにより、地域医療の復興に貢献するとともに、創薬研究や個別化医療等の次世代医療体制の構築を目指す。

- ◆意欲の高い医療関係人材が被災地で健康調査を実施し、それらの活動を通じて、被災地の住民の健康不安を解消。
- ◆15万人規模のバイオバンクを構築し、ゲノム情報と解析結果を比較することで、薬の副作用の低減や将来なりやすい病気の予測などの東北発の次世代医療を実現。

事業概要

宮城県及び岩手県を中心とした被災地の住民を対象として健康調査を実施するとともに、協力者の生体試料、健康情報、診療情報等を収集して15万人規模のバイオバンクを構築し、ゲノム情報等と併せて解析することにより、東北発の個別化医療等の基盤を形成し、創薬等の新たな産業の創出を目指す。



<実施体制>



<予算の推移>

平成23年度 (補正)	158億円
平成24年度	56億円
平成25年度	42億円
総額	256億円

※コホート：長期間追跡調査することを目的とした、ある特定の条件(地域等)に属する人々の集団

全体実施体制図

東北メディカル・メガバンク計画

文部科学省

推進本部：本事業の推進方針の決定、実施機関の進捗管理

東北メディカル・メガバンク計画 全体計画

推進委員会（外部有識者）

補助金交付

補助金
交付申請

補助金
交付申請

補助金交付

東北大学

<宮城県内のコホートを実施>

倫理委員会

東北
メディカル・メガバンク機構

全体実施計画の調整・作成

岩手医科大学

<岩手県内のコホートを実施>

倫理委員会

いわて東北
メディカル・メガバンク機構

東北メディカル・メガバンク計画推進合同運営協議会

（構成員：両大学総長・機構長・副機構長）

緊密な連携体制を構築

WGの共同設置、試料受け渡し体制の構築 等

課題別全国WG

地域医療支援 倫理・法令 ゲノムコホート連携推進
ゲノム・オミックス解析戦略 バイオインフォマティクス・人材育成

地域医療情報連携基盤

厚労省

補助金交付

総務省

補助金交付

被災県

地域の医療機関に情報通信システムを整備し、医療機関間を結ぶ情報通信ネットワークも整備

連携

〔診療情報
収集に活用等〕

先行コホート事業の
知見の提供、WGへ
の参画 等

関係大学

理化学研究所

生体試料、研究成果
の提供 等

ナショナルセンター

○バイオバンクジャパン

（東大医科研、理研）との連携

・疾患コホートとの連携

・疾患関連遺伝子の同定に活用